

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------|--|---------|------------------|--|----|------|
| ECC国際外語 専門学校 | 昭和59年2月20日 | 伊藤 功 | 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446 | | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | | |
| 学校法人山口学園 | 昭和58年11月22日 | 理事長 酒元英二 | 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6372-5151 | | | | | |
| 目的 | <p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。そのために以下の4項目をこども教育研究学科の学科目標として掲げている。</p> <p>①こども教育業界・保育園・幼稚園・小学校での勤務経験のある講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより、保育・幼稚園教育・小学校教育の現場が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。</p> <p>②授業で得た知識・技能を現場実習で実践することにより、経験力と教育力を高める。</p> <p>③英語能力を磨き、英語を使って保育・教育ができる人材となるための実用英語教育を行う。</p> | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 文化・教養 | 語学ビジネス専門 課程 | こども教育研究学科 | | | 平成27年文部科学省告示第18号 | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼間 | 3420 | 2848 | 1728 | 144 | 0 | 0 | 0 |
| 単位時間 | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | | 専任教員数 | | 兼任教員数 | | 総教員数 |
| 88人 | | 58人 | | 3人 | | 25人 | | 28人 |
| 学期制度 | ■前期:4月1日から7月31日 ■後期:9月1日から3月31日 | | | 成績評価 | | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。 総合評価点が50点以上であること。 | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日-8月31日 ■冬季:12月17日-1月13日 ■学年末:2月11日-4月上旬 | | | 卒業・進級条件 | | (卒業の要件) 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、48単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 (進級の要件) 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、48単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。 | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任による出欠確認 ・担任面談 ・保護者会 ・電話による対応 ・HRでの全体指導 | | | 課外活動 | | ■課外活動の種類 スポーツ大会・英語スピーチコンテスト・夏期英語集中プログラム・ハロウィーン仮装フェスティバル・駅伝大会・文化祭(地球祭)・海外語学留学(英国・韓国、等)・プレゼンテーションコンテスト・春期就職活動プログラム ■サークル活動: 有 | | |

| | | | |
|---------|--|----------|---|
| 就職等の状況 | <p>■主な就職先、業界等 大阪府小学校教員・大阪市小学校教員(非常勤講師)・海外子女教育振興財団・インターナショナルスクールなど</p> <p>■就職率^{※1} 9人中:9名 100 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 9人中:9名 100 %</p> <p>■その他</p> <p>(平成 27 年度卒業者に関する平成28年3月31日 時点の情報)</p> | 主な資格・検定等 | <p>小学校教諭1種免許(小学校教諭専攻) / 幼稚園教諭1種免許 / 保育士国家資格 / 学士 / 社会福祉主事任用資格 / 児童指導員 / Word文書処理技能認定 / Excel表計算処理技能認定 / 実業英語技能検定 / TOEIC / 保育英語検定</p> |
| 中途退学の現状 | <p>■中途退学者 6名</p> <p>平成26年4月1日 在学者 48名 (平成26年4月1日 入学者を含む)</p> <p>平成27年3月31日 在学者 42名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更・学業不振</p> <p>■中退防止のための取組 担任面談の実施(年3回)・出席管理・保護者会の実施</p> | | |
| ホームページ | URL: http://kokusai.ecc.ac.jp/ | | |

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程編成委員会を設置し保育園・幼稚園・認定こども園及び小学校教育現場との連携体制を強化し、授業科目やカリキュラムの更なる充実を図る。本校教職員のみならず、こども教育業界に精通した協会および企業等より委員を選任し、以下の項目に関して改善を積極的に実践する。

1. 授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する場とする。改善については、現状カリキュラムの長所を更に伸ばし、短所を改善していく。
2. 教育業界からの新たなニーズや要望を受け入れカリキュラムや実習・講演会などに積極的に組み込んでいく。
3. 教職員のスキル(専門知識/技術)と指導力の向上を図るために研修体制を継続的に行う。保育・幼稚園・小学校での研修・実習・インターンシップにあたっては、事前教育、研修期間中、事後教育における各教育機関との連携・調整の改善を協議する。
4. 教育課程編成委員会で協議された内容を学内カリキュラム編成委員会で検討し、次年度以降の実際のカリキュラムや学校事業に組み込む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月10日現在

| 名前 | 所属 |
|-------|------------------------------|
| 小椋圭一郎 | 大阪市児童福祉施設連盟理事/児童養護施設博愛社施設長 |
| 守屋美智子 | 社会福祉法人都島友の会「都島乳児保育センター」主任保育士 |

(開催日時)

第1回 平成28年9月10日 15:50-17:20

第2回 平成29年1月20日 13:00~14:30 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

1. 目的

- ・業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
- ・保育・幼稚園・小学校での実習を体験することにより、実戦力・経験力を高める。

2. 運営

- ・企業等との連携による実習・演習等は企業等から提供された情報や受入方針をもとに本校教員が事前に準備授業を行い、実習を行う。実習後は、学内にて振り返り授業を実施する。
- ・実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

3. 評価

- ・本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。
- ・カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|------------|--|--|
| 保育実習ⅡA(保育) | 保育者として必要な実践的知識や技能の習得を目的に提携保育園において実習を行い、実習簿への記録、考察を行う。乳幼児と実際にかかわりながら、保育の実践を学び、指導計画の作成、指導実習を行う。 | (1)都島保育園(2)都島桜宮保育園(3)都島友渕幼稚園(4)都島児童センター(5)西宮夢保育園(6)山手夢保育園 他全14保育園 |
| 保育実習ⅡA(施設) | 児童養護施設等ではたらく者として、また保育者、教育者として必要な実践的知識や技能の習得を目的に提携施設にて実習を行い、実習簿への記録、考察を行う。乳幼児・児童・生徒と実際にかかわりながら、児童養護施設での職務や保育の実践を学び、指導計画の作成、指導実習を行う。 | (1)児童養護施設 博愛社(2)児童養護施設 助松寮(3)尼崎市尼崎学園(4)児童養護施設 神戸真生塾(5)児童養護施設 武田塾 他全6施設 |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

(1) 研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせ実施する。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月1日現在

| 名前 | 所属 |
|-------|-----------------------|
| 小椋圭一郎 | 児童養護施設博愛社施設長 |
| 三橋 滋子 | 一般社団法人日本添乗サービス協会 専務理事 |
| 明松 克司 | ベイエリアサービス株式会社 代表取締役 |
| 塩谷 典子 | 株式会社TEI大阪支店 |
| 下西 由子 | セントレジスホテル大阪 HRオフィサー |
| 前田 雅範 | 済美福祉センター連合運営委員会 |
| 上野 篤郎 | 神戸大学経済学部(本校卒業生) |

(学校関係者評価結果の公表方法) 本校ホームページで情報を提供します。

URL: <http://kokusai.ecc.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法) 本校ホームページで情報を提供します。

URL: <http://kokusai.ecc.ac.jp/>

授業科目等の概要

| (語学ビジネス専門課程学科) 平成27年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|------------------|------------------|------------------------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | Listening&Speaking IA | 英語を母国語としない人にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師が担当)で、コミュニケーション能力を磨きます。 | 1/前 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | Listening&Speaking IB | | 1/後 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | Grammar Composition IA | 語学の基礎となる英語のルール(文法)を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。 | 1/前 | 96 | 6 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | Grammar Composition IB | | 1/後 | 64 | 4 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | STEP/TOEIC 対策 IA | 英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。 | 1/前 | 96 | 6 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | STEP/TOEIC 対策 IB | | 1/後 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ○ | | | ジュニア英会話教授法 IA | 幼児・児童のレッスンプランの基礎を学びます。デモンストレーションを徹底的に行い、児童英会話教師として授業が持てるよう訓練します。 | 1/前 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ジュニア英会話教授法 IB | | 1/後 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | パソコン演習 (Word) IA | ビジネスで求められるパソコンスキル(Microsoft Word/Excel)の基本操作を習得し、検定合格も目指します。 | 1/前 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | パソコン演習 (Excel) IB | | 1/後 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 地域貢献入門 | 地域の課題について目を向け、課題解決の為の手法を学びます。状況に応じ、地域パートナーと連携をとりながら、学習に取り組みます。 | 1/前 | 32 | 2 | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 地域貢献実践 | | 1/後 | 32 | 2 | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉論 | 遊び仲間がない、場所がない、遊ぶ時間がないという、課題に取り組む社会福祉について学習します。 | 1/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | こどもと音楽 | こどもたちが音楽表現の楽しさに気づき、生活へ与える潤いと鑑賞能力を伸ばすことについて学びます。 | 1/前 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | こどもと造形 | 造形活動を行う上で必要な用具、描き作るために必要な絵画や図工の知識や技能を習得します。 | 1/前 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 保育原理 | 保育に関する考え方や制度を中心に、保育者として保育の在り方を考えていくのに必要な基礎的な知識の習得を行います。 | 1/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 社会的養護 | 児童福祉と養護について、児童を取り巻く環境について、保育所、児童養護施設などの施設養護について学びます。 | 1/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 発達心理学 | こどものさまざまな能力や状態を理解し、科学的な人間理解をベースにこどもの行動のしくみを学習します。 | 1/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 憲法 | 憲法の概要、近代立憲主義の成立とその思想、日本国憲法の条文の読み方について学習します。 | 1/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------------|--|-----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|
| ○ | | 発音&リズム | 英語の非母語話者が区別しにくい発音項目や異なった単語が実際の会話の中でどのように聞こえるか、そしてそれらを発音する際にどのようなことに注意すればよいかなどを学びます。 | 2/後 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | フォニックス | 英語圏の子どもたちが母国語を学ぶ方法に近いかたちで自ら学ぶことによって、まずは自身の発音矯正をします。そして、子どもたちに指導できるよう学びます。 | 2/後 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 就職対策 | こども教育業界対応就職対策です。エントリーシート指導や面接対策、グループディスカッション対策、プレゼンテーション対策などを行います。 | 2/後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 社会福祉援助技術 | 個人、家族、社会的共同体らの生活の質、社会的な不利益（貧困など）に対して幸福やセキュリティを向上させるための心理社会的ケアなどについて学びます。 | 2/前 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 子どもと音楽表現Ⅱ | 受講前によく課題曲を練習し、ピアノ演奏は曲の途中でストップしないこと、ソルフェージュでは、大きな声で歌えるようにします。 | 2/前 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 小児保健Ⅰ | 健康や発達について学習し、こどもが主体で楽しく運動遊びを展開するための指導と援助の実践を学習します。 | 2/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 小児栄養学 | 栄養に関する基礎知識、食生活、食欲や味覚、食育に関する理論と実践について学びます。 | 2/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 臨床心理学 | 精神障害や心身症、心理的な問題や不適応行動の援助、回復、予防などのついて学びます。 | 2/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 教職論 | 教職志望者が教職の意義、教員の役割、職務内容について理解し、職責の重大さについて考え、意思を明確にしていきます。 | 2/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| ○ | | 保育実習ⅡA（保育） | 保育者として必要な実践的知識や技能の習得を目的に、日々の課題を明確にしながらか観察、参加などの実習を行い、実習簿への記録、考察を行います。乳幼児と実際にかかわりながら、保育の実践を学び、指導計画の作成、指導実習を行います。 | 2/前 | 16 | 1 | | △ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | | | | | |
| ○ | | 保育実習ⅡA（施設） | 児童養護施設の機能、役割の理解、こどもの理解等を通じ施設ではたらく者として、必要な実践的知識や技能の習得を目的とします。日々の課題を明確にしながらか観察、参加などの実習を行い、実習簿への記録、考察を行い、児童養護施設での職務や保育の実践を学び、指導計画の作成、指導実習を行います。 | 2/前 | 16 | 1 | | △ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | | | | | |
| ○ | | 保育実習ⅡB | 保育所の機能、役割の理解、こどもの理解等を通じ保育者として必要な実践的知識や技能の習得を目的に保育実習（保育）の前期体験をへて、今後の自分なりの保育者としての立場を明確にしていきます。 | 2/後 | 32 | 2 | | △ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | | | | | | |
| ○ | | 幼稚園実習ⅡA | 幼稚園の機能、役割の理解、こどもの理解等を通じ教育者として必要な実践的知識や技能の習得を目的に、日々の課題を明確にしながらか観察、参加などの実習を行い、実習簿への記録、考察を行います。 | 2/前 | 32 | 2 | | △ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | | | | | | |
| ○ | | 幼稚園実習ⅡB | 幼稚園の機能、役割の理解、こどもの理解等を通じ教育者として必要な実践的知識や技能の習得を目的に、日々の課題を明確にしながらか観察、参加などの実習を行い、実習簿への記録、考察を行います。 | 2/後 | 32 | 2 | | △ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------|---|-----|----|---|---|---|---|--|---|---|
| ○ | | 障害児保育 | 障害とはなにか、施策の動向、就学相談及び障がい者保育の実際や配慮事項について学びます。 | 2/前 | 16 | 1 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと造形表現Ⅰ | 造形活動を行う上で必要な用具、描き作るために必要な絵画や図工の知識や技能を習得します。 | 2/前 | 16 | 1 | △ | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 養護内容 | 家庭の変容等によるこどもの社会的不適応、その問題解決のために生き抜く力、適応性を育成する社会的養護について学習します。 | 2/前 | 16 | 1 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと体育 | 幼児期において体を動かし遊ぶことがいかに大切であるかを、自ら体を動かし、楽しさを体験しながら考えます。 | 2/前 | 32 | 2 | △ | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 教育相談 | 教育相談に関わる理論、知識の習得を通して、教育現場での諸問題等を主体的に考える姿勢を身につけます。 | 2/前 | 32 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと音楽表現Ⅱ | こどもたちが音楽表現の楽しさに気づき、生活へ与える潤いと鑑賞能力を伸ばすことについて学びます。 | 2/後 | 16 | 1 | △ | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 教育課程論 | 教育の全体像を教育課程(カリキュラム)でとらえ、論理的・実践的な理解を図ります。 | 2/後 | 32 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 小児保健Ⅱ | 健康や発達について学習し、こどもが主体で楽しく運動遊びを展開するための指導と援助の実践を学習します。 | 2/後 | 32 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 保育内容総論 | 保育所・幼稚園の保育所保育課程の全体構造を知り、計画、実践、評価、改善の全体を理解することを目指します。 | 2/後 | 32 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 精神保健 | 身体・心理・社会的存在である人間の活動を対象し、特に心の側に重点をおいて、精神疾患や精神的不健康について、ストレスとの関連などについて学習します。 | 2/後 | 32 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと造形表現Ⅱ | 造形活動を行う上で必要な用具描き作るために必要な絵画や図工の知識や技能を習得します。 | 2/後 | 16 | 1 | △ | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | 乳幼児保育 | 乳幼児の発達課題、子育て支援について学び、言語文化財の制作と実践を行います。 | 2/後 | 16 | 1 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 教育方法論 | 現代の幼稚園・小学校等を取り巻く環境を見据えながら、今求められる教育方法とは何かを学んでいきます。 | 2/後 | 32 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと環境(SC) | 「環境」について認識理解し、こどもの環境にかかわる力を発達がどのように支えているかを学びます。 | 2/前 | 16 | 1 | ○ | △ | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと造形表現Ⅱ(SC) | こどもの造形の指導援助者としての保育の実践的展開を支える造形の技能の習得を目指します。 | 2/前 | 16 | 1 | △ | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと健康(SC) | 小児保健実習の必要性を理解し、乳幼児の月齢・年齢に相応した発育・発達について講義、実習を行います。 | 2/前 | 16 | 1 | ○ | △ | ○ | | ○ | |
| ○ | | こどもと体育(SC) | こどもの心身の発達特性を理解し、体育的活動の指導者として必要な知識と技能を学習します。 | 2/前 | 16 | 1 | △ | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | Listening&SpeakingⅢA | 英語をスムーズに運用できるよう、リスニングとスピーキングの応用力を身につけます。 | 3/前 | 64 | 4 | △ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | Listening&SpeakingⅢB | | 3/後 | 64 | 4 | △ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | Grammar CompositionⅢA | 語学の基礎となる英語のルール(文法)を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。 | 3/前 | 64 | 4 | ○ | △ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | Grammar CompositionⅢB | | 3/後 | 64 | 4 | ○ | △ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | ReadingⅢA | 英文の構造(ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど)を学び、少量読んで効率良く情報を得るテクニックを身につけます。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | △ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | ReadingⅢB | | 3/後 | 32 | 2 | ○ | △ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | CultureⅢA | 国別に基本情報、言語、歴史的な所などをカバーするだけではなく、豆知識やあまり知られていない事実にも触れていきます。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | △ | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | CultureⅢB | | 3/後 | 32 | 2 | ○ | △ | ○ | | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------|---|-----|----|---|---|---|--|---|--|---|---|---|
| ○ | | TOEIC対策ⅢA | 英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。 | 3/前 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | TOEIC対策ⅢB | | 3/後 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | 小学校英語指導法ⅢA | 小学校の現場で使用されている英語ノートを使用し、授業展開できる力をつけていきます。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 小学校英語指導法ⅢB | | 3/後 | 64 | 4 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 採用試験対策ⅢA | 教員採用に合格するために筆記試験対策、面接試験対策を行います。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 採用試験対策ⅢB | | 3/後 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 進路対策ⅢA | 留学専攻は3年次後期からの留学・インターンシップに対する準備を、小学校専攻は、免許取得、教育実習準備を行います。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 就職対策 | 保育施設、児童養護施設などに就職するための知識のみならず、指導者として的人格を備えられるように訓練していきます。 | 3/後 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | こどもと音楽表現Ⅲ | こどもたちが音楽表現の楽しさに気づき、生活へ与える潤いと鑑賞能力を伸ばすことについて学びます。 | 3/前 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 学校・学級経営論 | 学校経営及び学級経営の意義、役割、機能、内容について学習します。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 発達検査法 | 発達検査・知能検査の基本的な概念と具体的な検査方法について理解することを目的とします。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 社会 | 「学習指導要領」(社会)の目標・内容を認識し、指導計画作成に必要な知識を着実に身につけます。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 理科 | 小学校理科の内容を物理、化学、生物、地学にわけ、実験、観察、栽培などの知識、技能を身につけます。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 小児保健実習(SC) | こどもの発育・発達段階に応じた健康状態の観察・評価、健康で安全な環境づくりなどについて実習を通して学習します。 | 3/前 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 音楽科指導法 | 音楽科指導法の基本的な考え方を概説。歌唱・器楽指導等を実践した上、学習指導計画、指導案を作成、発表と検討を行います。 | 3/前 | 32 | 2 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | こどもと環境Ⅲ | 保育の基本とされる「環境を通して行う教育」の意味を学びます。 | 3/前 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 特別活動指導法 | 特別活動の意義及び目的を学習指導要領の中で認識し、理解します。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 社会科指導法 | 新学習指導要領における小学校社会科改定のポイントに着目し、各学年の目標、内容の取扱いについて学習します。 | 3/前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 理科指導法 | 小学校理科の指導に必要な基本的考え方、姿勢、技能等を実践的に学びます。 | 3/後 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 生活 | 小学校に設定されている科目「生活」の指導法について、経験や活動を通じて学んでいきます。 | 3/後 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | こどもと体育Ⅲ(SC) | 幼児期において体を動かし遊ぶことがいかに大切であるかを、自ら体を動かし、楽しさを体験しながら考えます。 | 3/後 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 地域ボランティア(SC) | 児童養護施設、乳児センター、児童館等でこどもの指導に関連するボランティアを経験します。 | 3/後 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | こどもと音楽表現Ⅲ(SC) | こどもたちが音楽表現の楽しさに気づき、生活へ与える潤いと鑑賞能力を伸ばすことについて学びます。 | 3/後 | 16 | 1 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 図工科指導法 | 小学校図画工作科の授業を行う最低限の知識と実技を図画・工作分野を中心に学びます。 | 3/後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | 体育科指導法 | 小学校体育科の意義を理解し、体育科の果たす役割を知り、運動技能の習得がこどもの心と身体の発達に影響を及ぼすことを学びます。 | 3/後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | Listening&SpeakingⅣA | 英語をスムーズに運用できるよう、リスニングとスピーキングの応用力を身につけます。 | 4/前 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | Listening&SpeakingⅣB | | 4/後 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | Grammar CompositionⅣA | 語学の基礎となる英語のルール(文法)を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。 | 4/前 | 64 | 4 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | Grammar CompositionⅣB | | 4/後 | 64 | 4 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|-------------------|---|------------------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ | | ReadingIVA | 英文の構造（ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど）を学び、少量読んで効率良く情報を得るテクニックを身につけます。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | ReadingIVB | | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | CultureIV A | 国別に基本情報、言語、歴史的な所などをカバーするだけでなく、豆知識やあまり知られていない事実にも触れていきます。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | CultureIV B | | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | TOEIC対策IVA | 英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。 | 4/ 前 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | TOEIC対策IVB | | 4/ 後 | 64 | 4 | △ | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | 小学校英語指導法IVA | 小学校の現場で使用されている英語ノートを使用し、授業展開できる力をつけていきます。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 小学校英語指導法IVB | | 4/ 後 | 64 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 採用試験対策IVA | 教員採用に合格するために筆記試験対策、面接試験対策を行う。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 採用試験対策IVB | | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 卒業制作発表 | 卒業に際し、自らの研究テーマについて深く追求し、発表を行います。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 就職対策 | 保育施設、児童養護施設などに就職するための知識のみならず、指導者として的人格を備えられるように訓練していきます。 | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | こども就職対策 | 保育施設、児童養護施設などに就職するための知識のみならず、指導者として的人格を備えられるように訓練していきます。 | 4/ 後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 国語科指導法(A) | 小学校の国語教育のために必要な国語についての知識を学習することを目的としています。 | 4/ 前 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 算数 | 四則計算の数学的意味を解説し、量と関数及び図形の内容について学習します。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 算数科指導法(A) | 小学校算数の授業を構築するための指導案の書き方を学び、模擬授業を行います。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 算数科指導法(SC) | | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 家庭科指導法(A) | 小学校家庭科における、指導法、学習指導要領内容、評価方法を学び、指導案を作成して模擬授業を行います。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 家庭科指導法(SC) | | 4/ 前 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 教育実習論(カタンズ)(A) | 教育実習に必要な基礎知識及び、事前準備、望む態度について学びます。 | 4/ 前 | 32 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 外国語活動指導法(SC)A | 小学校における外国語活動の実際を、グループで授業を作り上げ実践することで経験します。 | 4/ 前 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | 教育実習(小学校)A | (原則) 母校にて教育実習(小学校)を行います。 | 4/ 後 | 16 | 1 | △ | △ | ○ | △ | ○ | ○ | |
| ○ | | 保育英検ⅢB | 保育合格に必要な知識を学び、対策演習を行います。 | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 道徳教育論(B) | 小学校道徳教育の基礎を学び、模擬授業を行います。 | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | こどもと人間関係IV(B) | 幼稚園教育要領、保育所保育指針における「人間関係」のねらい、内容、取り扱いを理解して実践展開できる構想力を育みます。 | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | こどもと健康IV(B) | こどもの健康の意義と身体諸機能の発達について理解し、発達に応じた遊びの意義や内容について理解します。 | 4/ 後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 介護体験実習(B) | 教員免許取得に必要な介護体験を支援学校、老人福祉施設などで行います。 | 4/ 後 | 16 | 1 | ○ | | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| ○ | | こどもと言語表現IV(B) | こどもの言葉の発達や児童文化の制作、実践を行い、言葉に関する研究を深めます。 | 4/ 後 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 採用試験対策(教職教養)IV(A) | 小学校教員採用試験合格に向けての対策授業です。筆記試験対策および面接対策を徹底的に行います。 | 4/ 後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 採用試験対策(一般教養)IV(A) | | 4/ 後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| 合計 | | | 138 科目 | 4720単位時間(295 単位) | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|----------|-------|
| 卒業に必要な総授業時間数は3420時間・214単位 各科目の単位は出席率75%以上、評価点50点以上で認定する。 | 1学年の学期区分 | 前期・後期 |
| | 1学期の授業期間 | 16週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。